

講義名	TOEIC準備/英語資格試験準備(GSP・上級)			授業形態	
担当教員	山本 勝巳	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生
			ナンバリング・コード	ENG206	

主題と概要

資格試験の出題形式に慣れるとともに、解答に必要なリスニング・リーディングを中心とした英語力の増強を図る。

到達目標

- ・資格試験の出題形式に慣れることができる。
- ・資格試験の問題を実践的に解答でき、正解の理由がわかるようになる。

提出課題

- ・オンライン/オフラインでの課題提出を求めることがあります。
- ・小テスト(複数回)

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

小テストについて、解答後ただちにスコア等がオンラインで確認可能。内容については講義内で適宜説明を加える。

評価の基準

オンライン教材の達成状況50%・小テスト15%・定期試験35%
 *正当な理由のない提出遅れについては毎回1/20のポイント減となります。
 *時間外の小テストについては設定された期間を過ぎると受験できません。

履修にあたっての注意・助言他

授業には積極的に参加してください。英語の基礎力(語いおよび文法)を高めるよう努力してください。指定以上の出席欠席すると単位が認定されません。出席管理は自分で行うこと。講義次での学習・練習・受験も必要です。

教科書

.オンライン教材(有料・初回講義で指示)	ALC	3,300		
----------------------	-----	-------	--	--

参考図書

.なし				
-----	--	--	--	--

その他

授業中に適宜資料を配布します。

授業計画

1. ガイダンス・Pre-test
2. Unit 1 & 2: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
3. Unit 3 & 4: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
4. Unit 5 & 6: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
5. Unit 7 & 8: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
6. Unit 9 & 10: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
7. Unit 11 & 12: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
8. Unit 13 & 14: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
9. Unit 15 & 16: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
10. Unit 17 & 18: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
11. Unit 19 & 20: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
12. Unit 21 & 22: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
13. Unit 23 & 24: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
14. Unit 25 & 26: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング
15. Unit 27 & 28: Stage 1 「狙い目」攻略・Stage 2 テスト対策ドリル・Stage 3 英語力upトレーニング

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア: PBL(課題解決型学習)	イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習: 指定範囲の単語・意味調べ、解答(2時間程度)
 復習: 毎回の範囲の練習問題(2時間程度)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

資格試験の準備を通して「自ら目標を設定し、他に依存することなくそれを成し遂げることができる」というになるとともに、留学歴生に求められる「企業マネジメントに関する幅広い知識」・経済学部生に求められる「社会に関するこれまでの学問的成果」・人間社会学部生に求められる「社会の仕組みや働き、日常生活と文化」といった現実社会の様々なテーマに習熟し、「コミュニケーション能力」を身につけることを目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教材配布・小テスト・期末試験の実施にはLMSを利用する予定です。

実務経験の有無及び活用

備考

オンライン教材は教科書購入の対象になっていません。購入の仕方については1選目のガイダンスの中で説明しますから、必ず出席して手続きをしてください。